

ゲムシタビン(D1,8)TS-1(D1-14)療法

外科: 管理番号 D309

処方医

適応: 膵臓がん

3週を1コースとし投与をくりかえす

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
GEM	●							●													
TS-1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							

身長: cm 体重: kg 体表面積 m²

DAY 1(月 日) DAY 8(月 日)

薬剤名	投与量	
グラネトロン点滴静注用バッグ3mg	1袋	30分
生食 100mL	1瓶	30分
ゲムシタビン 1000mg/m ²		
生食 20mL	1管	静注

24Gにてルート確保(炎症)

薬剤師: _____

DAY 1~14(月 日 ~ 月 日)

薬剤名	投与量	
TS-1 80mg/m ²		内服

腎障害時用量調節

[適性使用基準]

[DLF] GEM: 骨髄抑制
TS-1: 骨髄抑制
下痢

1. PS (Performance Status)が0~2である		
*2. 重篤な骨髄抑制がない		
*3. 間質性肺炎または肺線維症がない		
*4. 胸部への放射線療法を施行していない		
*5. 重篤な感染症を合併していない		
6. 重篤な腎障害がない		
7. 重篤な肝障害がない		
8. 他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤を投与していない(7日以上)		
9. フルシトシンを投与していない(7日以上)		
10. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。		
血液一般検査	* WBC (/μL)	3500~12000
	* Neut (/μL)	2000 ≤
	* PLT (/μL)	10万 ≤
	* HGB (g/dL)	9 ≤
	GOT (IU/L)	正常値上限の2倍以下
	GPT (IU/L)	正常値上限の2倍以下
	TBil (mg/dL)	正常値上限の2倍以下
	BUN (mg/dL)	正常値上限以下
	Cr (mg/dL)	正常値上限以下

ゲムシタビン

[今回の投与量] mg [累積投与量] mg

[今回の投与量] mg [累積投与量] mg

TS-1 減量・増量の目安

S-1初回基準量	減量	増量
40mg/回	休薬	50mg/回
50mg/回	40mg/回→休薬	60mg/回
60mg/回	50mg/回→40mg/回→休薬	75mg/回

TS-1 腎機能障害時の投与量

Ccr	≥80	50~80	30~50	≤30
変更なし		必要に応じて1段階減量投与量から開始	1段階以上の減量投与量から開始	投与不可

[DLFを除く重大な副作用]

《ゲムシタビン》

- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・アナフィラキシー様症状〔呼吸困難等〕
- ・心筋梗塞〔胸痛・呼吸困難等〕
- ・うっ血性心不全〔息苦しさ・むくみ・胸痛等〕
- ・肺水腫〔呼吸困難・チアノーゼ等〕
- ・気管支痙攣〔呼吸困難・喘鳴等〕
- ・成人呼吸促迫症候群(ARDS)〔呼吸困難等〕
- ・腎不全〔むくみ・尿量低下等〕
- ・溶血性尿毒症症候群〔紫斑・むくみ・尿量低下等〕
- ・皮膚障害〔紅斑・水疱・落屑等〕

《TS-1》

- ・脱水症状〔激しい下痢等〕
- ・重篤な腸炎〔激しい腹痛・下痢等〕
- ・間質性肺炎〔咳嗽・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・重篤な口内炎、消化管潰瘍、消化管出血、
消化管穿孔〔腹痛・嘔吐・吐血・下血等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・乏尿等〕
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症
〔紅斑・発熱・関節痛・下痢等〕
- ・白質脳症〔歩行時のふらつき・
四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等〕